

事務事業名		道整備推進交付金事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共土木G	課長名	松村 直樹	
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	石飛 瑞輝	電話番号	0854-40-1063	
	目的対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。				
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		予算科目	0:140:0:3	大事業名	市道道路整備事業	
目的対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。				中事業名	道整備推進交付金事業
					1:0:1:5:0:8	中事業名		

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
道路利用者	市内を安全で迅速に移動できるようにする。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H29 年度 ~ R4 年度)	・落石対策により危険箇所を取り除くことで通行者の安全を確保する。広域農道整備と連携して観光施設アクセス道路の整備を実施する。 ・H29年度からR3年度の5年間で事業完了の予定であったが、R3年度に計画変更し、R4年度に完了する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・川井箱淵線舗装工事 L=1,200m (事業完了)	・設計時に工法検討によるコスト縮減を図り事業費の抑制に努めた。 ・計画変更で舗装修繕を行い、通行者の安全確保を図る。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 生活道路が安全で便利だと感じている市民の割合	%	65.2	63.9	66.8	
イ 生活道路で危ない場所があると感じている市民の割合	%	65.7	68.4	66.5	
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)	② コストの推移	単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
【工事費】 川井箱淵線舗装工事 20,009千円 【事務費】 消耗品費 477千円 【地方債】合併特例債	財源内訳	国庫支出金	千円	17,500	9,314	10,000
		県支出金	千円			
		地方債	千円	17,100	9,100	9,900
		その他	千円			
		一般財源	千円	994	512	586
事業費計		千円	35,594	18,926	20,486	0

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・舗装修繕により道路利用者の安全が確保できた。
② 事業実施するうえでの課題	・道路施設の老朽化が進み、補修や更新、安全対策が必要な箇所が増加している中、計画的かつ効率的な道路の維持管理を確保するため、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)を構築し、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・地方創生道整備推進交付金で危険箇所を取り除くことにより、地域住民の安全はもとより観光客の安全確保、農産物や畜産物の効率的な輸送や生活道路の確保、通勤通学の安全を図る。